

地域社会のために

〈ろうきん〉は、人と人、人と地域をつなぐ共生社会の実現をめざしています。

地域社会がつながる寄付活動

2020年度は、〈ろうきん〉本・支店が、地域で活動する各団体との関係を深めて、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、子ども食堂や青少年の教育・福祉を担う団体など、合計52団体に対して総額375万円分の寄付・寄贈を行いました。

また、青少年の育成を担う団体への寄付活動や子どもたちの暮らしを守る活動など、さまざまな活動に取り組みました。

● 青少年の育成を担う団体への寄付活動

〈ろうきん〉では、新型コロナウイルス感染拡大のなかで、在宅でもご利用いただける非対面(Web)の取引件数に連動した寄付活動を展開しました。寄付の対象とした取引は、ろうきんダイレクト(インターネットバンキング)の振込取引、ホームページ上での住所変更手続き、ろうきんアプリの新規登録等とし、取組期間中に163,959件の取引をいただきました。寄付先は、学校休業中に子どもたちの居場所となった「放課後児童クラブ」「放課後等デイサービス」(県内31団体)とし、新潟県社会福祉協議会を通じて合計500万円の寄付金を贈呈しました。



寄付金目録の贈呈式

● 子どもたちの暮らしを守る活動 あんしんポイント

新潟県小中学校・障害児学校就学援助協会への寄付

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって経済的困難を抱える家庭を支援するため、新潟県小中学校・障害児学校就学援助協会へ3,000万円の寄付を実施しました。

新潟県小中学校・障害児学校就学援助協会とは？

新潟県教職員組合が設立した団体で、県内の市町村立および県立の小学校・中学校・特別支援学校(小・中等部)・中高一貫教育校(中等部)・義務教育学校に在学している児童・生徒を対象に、中学校を卒業するまでの間、給食費見合い分として独自の支援金を給付する取組みを行っています。

本寄付は、〈新潟ろうきん〉の社会的役割を発揮するため、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって未執行となる予算見合い分を寄付したもので、福祉金融機関らしい取組みとして、贈呈式には、新聞各社・報道各局が集まり取材を受け、大きな注目を集めました。



寄付金目録の贈呈式

寄付金は、同協会を通じ、多くの子どもたちに支援金として給付され、あんしんスマイルプロジェクトがめざす、青少年が「《あんしん》して暮らせる地域社会」の実現につながります。

お金の大切さを考える絵本の作成・寄贈

〈新潟ろうきん〉の女性応援プロジェクトは、「仕事や子育て等で日々がんばっている女性を応援する」ことを目的に、2017年度から女性職員が中心となって活動しています。

このプロジェクトの一環として、お金の大切さを考える絵本の作成に取り組み、「子育て中の女性のニーズに応えたい」「キャッシュレス化が進む時代だからこそ金融機関として『お金の大切さ』を伝えたい」という想いを、新潟で活躍する人気絵本作家あだちあさみさんから形にいただきました。出来上がった絵本「ポルコ ポルタ ポッチのひみつのちよきんばこ」は、県内の公立幼稚園・保育所・認定こども園等、467施設へ寄贈しました。



「あんしんスマイルプロジェクト」は、青少年が「《あんしん》して暮らせる未来」を実現するため、各年代において、お金にまつわる知識や判断力を養う教育を推進しています。この絵本により、お子さまの笑顔の時間が増え、一緒に「お金」のことを考えるきっかけとなれば幸いです。

子どもたちの未来のために

●「いじめ見逃しゼロ県民運動」への協力

「深めよう 絆 にいがた県民会議」が実施する「いじめ見逃しゼロ県民運動」は、学校・家庭・地域社会が連携し、児童生徒の社会性を育てると同時に、「いじめ見逃しゼロ」の意識を共有し、それぞれの立場で児童生徒に関わることを目的としています。〈ろうきん〉は、「県民サポーター募集」活動をはじめ、全営業店にポスター等を掲示し、お客様へ「県民サポーター」登録の呼び掛けをするなど各種取組みに協力しています。



●公益財団法人新潟県交通遺児基金への寄付

2006年から、マイカーローンご利用1件につき100円を、公益財団法人新潟県交通遺児基金等に寄付する取組みを行っています。また、マイカーローンご利用の皆様にも50円または100円のワンコイン募金をよびかけています。

その結果、2020年度は、101万739円の寄付を行うことができました。また、この取組開始からの寄付総額は、999万8,598円となりました。

2020年度寄付金額	101万739円
------------	----------

●青少年スポーツ事業への支援

スポーツを通じた青少年の健全育成の一翼を担い、地域社会に貢献するため、「TeNYちびっこミニサッカーフェスタU-10」に協賛しています。

●高校生への奨学金の給付

ろうきん
財団

経済的な事情によりお子様の高等学校等への就学が困難な家庭を支援することで、お子様の就学と健全な育成をはかることを目的に、2013年度から、返還義務のない給付型の奨学金の給付を行っています。

2020年度募集では、新たに30名の方に奨学金を給付し、これまでに延べ240名の高校生を支援しています。

地域のボランティア団体等への寄付活動

●社会福祉法人「新潟いのちの電話」への寄付

新潟いのちの電話は、1984年に始められたボランティアによる電話相談活動で、行政や民間の諸機関と連携して自殺予防に関する相談活動や啓発活動を実施しています。

〈ろうきん〉は、同団体に対して毎年寄付を行っています。

●ろうきんえくぼの会

ろうきんえくぼの会は、〈ろうきん〉役職員が、地域福祉施設等への寄付・支援等を行うことを目的として2003年に設立した団体です。

これまでに、あしなが育英会や公益財団法人新潟県交通遺児基金、災害地等への寄付を行ってきました。これまでの寄付総額は、1,399万5,555円となりました。

寄付総額	1,399万5,555円
------	--------------

●「ピンクリボン運動」への寄付 (2021年3月31日まで実施)

〈ろうきん〉は、乳がんの早期発見・早期受診・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」の趣旨に賛同しています。

〈新潟ろうきん〉のATMで、〈新潟ろうきん〉のキャッシュカードをご利用いただいた普通預金からのお引出し1件につき、1円を〈新潟ろうきん〉が拠出し、新潟県内等でピンクリボン運動を支援している団体に寄付する活動を行いました。

寄付総額	455万9,031円
------	------------

地域の皆様と共に

●地域イベントなどへの協賛

地元のサッカーチームや地域のイベントなどに協賛しているほか、各種行事などにも参加し、地域の皆様との親密な関係づくりにつとめています。

●「愛のかけ橋バザー&フェスタ」への協力

愛のかけ橋バザー&フェスタは、新潟国際ボランティアセンターが実施する新潟発の国際協力活動です。〈ろうきん〉では、同イベントに対し、役職員から日用品の寄付を募り、バザー商品の提供を行っています。

ろうきん
財団

〈公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団〉とは？

1983年に、当時の高度経済成長に伴う勤労者ニーズの多様化や、労働金庫事業の範囲を超えたサービスへの期待の高まりを受け、〈新潟ろうきん〉が創立30周年記念事業として設立した団体です。

〈新潟ろうきん福祉財団〉は、〈新潟ろうきん〉からの寄付金をもとに、広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的にさまざまな事業を展開しています。

2021年4月、これまで以上に公益的な活動に注力し、県民や勤労者の福祉向上をはかるため、一般財団法人から公益財団法人へ移行しました。

公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団 〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階 TEL 025-288-5273

NPO等への支援

NPO等の市民活動団体は、行政や一般企業では手の届かない福祉、環境、子どもの育成、まちづくりなど、さまざまな分野で活動を行っています。

〈新潟ろうきん〉と〈新潟ろうきん福祉財団〉は、新潟県内で活動するNPO等をさまざまな形で支援することで、これら団体の発展と県民の福祉向上をめざしています。

●NPO等への助成

ろうきん
財団

NPO等を支援し、これら団体の発展と県民の福祉向上を目的として、2003年度からNPO等への助成を行っています。

2020年度の実績

助成団体数	20団体
助成総額	825万5千円

本事業開始からの累計

助成団体数	346団体
助成総額	1億6,234万4千円

●NPO法人や社会福祉法人など非営利協同セクターへの融資

注目!

地域社会が抱えているさまざまな課題を解決し、安心して暮らせる地域づくりを行うNPO法人や社会福祉法人、生活協同組合などの非営利法人の活動を支援するための資金の融資を行っています。当金庫では、設備資金や運転資金などの幅広い資金ニーズにお応えするため、お借入れ方法もご要望に沿えるよう柔軟に対応しているほか、創業資金のご相談も承っています。2020年度は19件2億9,690万円の利用がありました。

またNPO法人には、新潟NPO協会と連携した「NPO応援ローン」をご用意しており、資金需要に適切な相談を行うとともに、手続きを簡素化するなど、利用しやすい制度としています。

さらに、NPO法人や社会福祉法人等で働く人の当金庫利用も促進することで、法人に関わる皆様のお役に立てるよう、心掛けています。

※NPO応援ローンおよびその他の融資制度、融資金利などの詳細は、

フリーダイヤル ☎ 0120-191-880 (平日・土曜・日曜9:00~17:00) にお問い合わせください。

NPO 法人のほか、社会福祉法人、社団法人、生活協同組合等の資金ニーズにもお応えします！



●融資制度ご利用団体への助成

ろうきん
財団

ローンをご利用中のNPO法人に対し、融資金の利子補給助成をしています。2020年度は、7団体に総額23万7千円の助成を行いました。

●にいがたNPOカレッジの開催

新潟県および新潟NPO協会との協働により、NPO等の自立と持続的運営を目的として「にいがたNPOカレッジ」を2017年度から開催しています。2020年度は団体の信頼性を高める「マネジメントコース」、団体の持続性を高める「経営戦略コース」の2コースをご用意し、多くの方からご参加いただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場に参加者が集まる対面型からZoomを使ったオンライン型へ開催方法を変更しました。初めての試みでしたが、参加者数は前年度に比べ大幅に増加し、「自宅から手軽に参加できた」「YouTube配信があるので団体内で復習できた」など、大変ご好評いただきました。

●にいがたソーシャルビジネス支援ネットワークへの参画

「にいがたソーシャルビジネス支援ネットワーク(愛称:SIP)」は、地域社会の課題をビジネスの手法で解決しようとする社会的企業やNPO等が抱える経営上の課題について、地域の支援機関が連携してサポートするネットワークです。

相談内容により、加盟団体に取り次ぐなど、ワンストップでのサービスを提供しています。



(構成団体)

新潟県労働金庫、新潟ろうきん福祉財団、新潟NPO協会、新潟県行政書士会、関東信越税理士会新潟県支部連合会、日本政策金融公庫、新潟日报社、新潟県県民生活課

●中間支援組織との意見交換会の開催

行政、地域、NPO団体をつなぎ、さまざまな市民活動を支援する県内の中間支援組織の皆様から一堂に会していただき、意見交換会を毎年開催しています。

2020年度は対面型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型で開催し、新型コロナウイルスの影響による困りごとや、各団体の新しい取組みなどについて、意見交換を行いました。また、休眠預金等活用法が施行されたことを受け、本制度に関する学習会を併せて開催しました。

県民・勤労者の福祉向上のために

ろうきん
財団

県民の暮らしに関わる諸問題・課題を共有し、県民の福祉向上と安心・安全な暮らしづくりを目的として、勤労者・労働者福祉団体・NPO・自治体等の関係者が一堂に会して連携・交流する活動を展開しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県内全域を対象とするフォーラムが延期となりましたが、中越地域にて、地域ワーク&ライフセミナーを感染防止対策を徹底し開催しました。

●2020地域ワーク&ライフセミナー(長岡会場)

2021年2月27日、長岡市を会場に「2020ながおかワーク&ライフセミナー」を2部構成で開催しました。第1部では、映画「家族を想うとき」上映後、女性の自立と人権問題に取り組んでいる地元NPO団体からの活動報告を受け、第2部では、映画「ワーカーズ被災地に起つ」上映後、「協同労働」についてのセミナーを開催しました。

第1部、第2部ともに働くことの意義や働き方について考えさせられる内容であり、新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数を限定したものの、地域の市民団体のほか、地域住民の皆様からもご参加いただくなど、合計235名の方からの参加がありました。



2020ながおかワーク&ライフセミナー(第1部)

地域社会創造のために

ろうきん
財団

●地域社会創造を推進する団体への助成

地域おこしや地域資源を活用したコミュニティビジネスの振興などを通じて地域の暮らしを支え、伝統文化を維持し、農地の管理や森林の保全を通して自然環境を守るなど、地域社会を創造する団体への助成を行っています。(地域社会創造助成事業)

2020年度の実績

助成団体数	9団体
助成総額	1,014万円

本事業開始からの累計

助成団体数	75団体
助成総額	8,205万2千円



助成事業の面接選考会

●地域づくりセミナーの開催

地域社会創造助成事業の助成団体・関連団体、地元住民とのネットワークづくりを目的として、長岡市において、(一社)BOOT代表の矢部佳宏氏を講師にお招きし、奥会津の地域づくり実践例を題材としたセミナーを開催しました。助成団体関係者や地元関係者など46名の方からご参加いただきました。



地域づくりセミナー in 長岡

●新潟県地域づくり巡回講座(にいがた旬塾2020)の開催

地域づくりの現場で活かせる知識の習得と参加者相互のネットワークづくりなどを目的として、NPO法人岡山NPOセンターの石原達也氏の講演「コロナ禍時代の市民活動とこれから」をメインとした、「新潟県地域づくり巡回講座(にいがた旬塾2020)」を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、オンラインと5カ所のサテライト会場を併用したハイブリッド形式で開催し、延べ36名の方からご参加いただきました。



セミナー等の開催

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、オンラインセミナーやWebアンケートなども活用して、働く人たちとその家族、そして地域の皆様の暮らしに役立つ各種情報をお届けしました。

●資産形成セミナー

感染症拡大防止に配慮した方法でお客様への情報提供が可能となるよう、全営業店がそれぞれ、「お金の基本セミナー」や「ライフプランにおける資産形成の重要性」など資産形成に関するセミナー動画を作成し、会員の皆様に提供しました。

その他、女性に向けたお金に関するテーマ、教育・進学に関するテーマ、金融トラブル防止・啓発に関するテーマ、生涯生活設計やセカンドライフに関するテーマなどの各種セミナー(情報提供)を実施しました。

すべての人にやさしい店舗づくり

お身体の不自由な方やご高齢の方など、すべての人に安心してご来店・ご利用いただけるよう、次のさまざまな取組みを実施しています。

- 職員による代筆・代読など、各種手続きをお手伝いしています。
- 視覚に障がいがある方が窓口での振込手続きを希望された場合は、ATM利用時と同額の振込手数料でお手続きいただけます。
- ATMにはハンドセット(受話器)による音声案内機能を導入しています。
- 点字ブロックを全営業店に敷設し、ご来店いただきやすい環境を整えています。
- 点字による残高通知および預金取引明細を発行しています。
- 車椅子を全営業店に配備しています。
- 車椅子の方もご来店いただきやすいよう、スロープや手すりなどを設置しています。
- 車椅子のままご記入いただける筆記台を設置しています。
- 「耳マーク表示板」を全営業店に設置し、聴覚に障がいがある方から筆談等で用件を承ります。また、ご希望により、聴覚に障がいがある方の通帳に「耳マークシール」を貼付しています。
- 聴覚に障がいがある方や、声を出しづらい方のための電子メモパッドを全営業店に配備しています。
- 障がいがある方の対応について、職員研修を実施しています。

また、「ろうきん」では、福祉金融機関としての活動を充実させるため、職員に金融以外の専門知識の習得を促進しており、全営業店に「認知症サポーター養成講座」を受講した職員(認知症サポーター)を配置しています。

※ 認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族に対して、できる範囲で手助けをする人のことであり、全国の自治体等が中心となって養成講座を実施しています。



環境のために

自然環境と共存しながら社会とともに発展することを目的に、環境負荷の軽減につとめています。

ろうきん森の学校



「ろうきん森の学校」は労働金庫連合会が創立50周年記念社会貢献活動として、豊かな森の再生と環境問題に取り組む人材育成をめざし、「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」を活動の柱として、2005年10月に富士山、福島、広島での3地区で開校し、2015年には新潟・岐阜を加えた全国5カ所に拡大しました。

全国的なろうきん森の学校の活動は「国連生物多様性の10年日本委員会」の連携事業として認定されました。

新潟地区は、上越市「くわどり市民の森」を拠点として活動している「NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部」と連携しています。

当金庫としても、地域とのつながりを深めながら、自然環境保護の活動を支援しています。

また、SDGsの取組みとして、環境やパートナーシップへの理解を深めるための職員研修を現地にて開催しています。



ろうきん森の学校

環境への負荷に配慮した取組み

SDGsの「環境に配慮した取組み」として、地球温暖化防止に向けた省エネルギーの取組みを実施しています。具体的には、冷暖房の適正温度設定や夏季軽装、エコドライブの実践、グリーン商品の購入など、省エネ・省資源につとめ、環境負荷軽減をはかっています。

また、「にいがた緑の百年物語」(緑の募金)に協賛しています。



多様な人材の活躍のために

職員の個性を尊重し、能力を最大限発揮できる組織風土の確立に取り組んでいます。

健康経営の推進

● 推進体制

〈ろうきん〉は、組織の活性化や生産性の向上、職員のモチベーションアップ等を目的として、職員が健康でいきいきと働くことができる職場をめざし、健康経営を実践しています。健康経営の実施状況は、健康経営責任者である人事担当代表理事を議長とした「保健衛生委員会」において、産業医・総務人事部・労働組合・産業看護専門職が連携し、調査・審議を行っています。

● 外部評価

2021年3月、優良な健康経営を実践している法人として、経済団体・医療関係団体等で構成される日本健康会議から「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」の認定を受けました。



※「健康経営優良法人認定制度」とは、地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

ワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティの推進

〈ろうきん〉は、職員がお互いの特性や事情を理解し尊重するとともに、能力を最大限に発揮できる職場環境を構築するため、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)およびダイバーシティ(人材の多様性)の取組みを推進しています。

● 仕事と育児の両立に関する取組み(くるみん)

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、少子化対策として子育て支援に積極的に取り組む企業である「子育てサポート企業」として、2019年11月に「くるみん」認定を受けています。



● 女性職員の活躍に向けた取組み(えるぼし)

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、一定の基準を満たし女性の活躍促進に関する状況が優良な「女性活躍推進企業」として、2020年3月に「えるぼし」(3段階のうち最高位)認定を受けています。



● 男女共同参画の取組み(ハッピー・パートナー企業)

男女が共に働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるような職場環境の整備や女性職員の育成・登用などに積極的に取り組む企業として、2010年12月に新潟県のハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)の登録企業となりました。また、働きやすい職場づくりの取組みをより一層進めている企業として、2019年6月に「イクメン応援プラス」認定を受けています。



● 仕事と介護の両立に関する取組み(トモニン)

〈ろうきん〉は、親や家族などの介護のために、やむを得ず仕事を辞める介護離職を未然に防止するため、仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組んでいます。取組み内容を厚生労働省の「両立支援のひろば」にて公表し、「仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組んでいる企業」として、2020年11月に「トモニン」認定を受けています。



● 障がいのある職員の雇用に関する取組み

〈ろうきん〉は、障がいのある職員の特性(個性)を尊重したうえで、職場での円滑な受入れと定着のため、障がい者の雇用に関する規程の制定や、企業が籍型職場適応援助者(ジョブコーチ)の配置、職員研修等を行っています。こうした取組みが評価され、2019年度に「(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞」を受賞しています。

● ハラスメント防止に向けた取組み

〈ろうきん〉は、職員が個人の尊厳を不当に傷つけられることなく、安心して就労することで自己の能力を十分に発揮できるような職場環境を整備することを目的に、ハラスメント防止に取り組んでおり、「ハラスメント防止宣言」としてホームページに公開しています。